

## 2020年7月13日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 中東におけるトルコの戦争について -

URL : [2020年7月13日中東時事アップデート](#)

今晚は、トルコに集中したいと思います。背景からお察しいただけるでしょう。そして、今日、理解してゆくのは、トルコの、ほぼ180度の変化です。1950年に、イスラエルを承認した最初のイスラム教国家から、最も癡猛な、イスラエルの敵の1つとなりました。そして、ロシアが主導する、イスラエルへの大規模侵攻の一部となります。それは、もう間もなくです。という事で、もう祈りましたから、まずは、これから始めようと思います。

トルコに入る前に、イランについて触れましょう。ほぼ毎日、イランで何かが起こっています。ツイッターやフェイスブックで私をフォローしていれば、ご存知でしょうが、もはや毎週ではなく、毎日のように起こっています。今日、イランで、2つの別々の爆発が発生しました。一つは、液体ガスを作る場所で巨大な爆発があり、そして、ちょうど1時間前には、カビアン石油化学会社の工場での大爆発があって、6つの、主要なガスコンテナが基本的に爆発、焼失しました。そして、イランの誰かさんが今、とても、とても、とても憤慨しています。今、まさに何が起こっているのかを説明させてください。3つの主要なターゲットがあり、過去10~12日の間に三大標的での爆発、爆破がありました。一つは、イランのミサイル計画、もう一つは、イランの核計画。そして3つ目は、イラン革命警備隊を支援するものです。ですから、これらの3つの標的についてお話します。さて、いわゆるインフラ施設と呼ばれる大きなものが、ほぼ、毎日のように打撃を受けています。今、こういったことの背後に誰がいるのかと、多くの人が推測しています。私が読んだいくつかの報告では、少なくとも、ペルチンとナタンズにある、ロケットやウラン濃縮に関わる主要なものは、イスラエルと米国の共同作業だ、と。私は…残念ながら、それを確証することも否定することもできませんが、私が何を考えているかは、もうお分かりだと思います。しかし、それだけではなく、明確にしましょう。4月にイスラエルの水道をハッキングして、インフラを攻撃したのは、イランの方です。塩素濃度を上げ、イスラエルの民に毒を盛ろうとしました。もちろん、イスラエルは、この攻撃を阻止しました。我々は、世界最高のサイバーセキュリティシステムの一つを持っていますので。実際、これらのサイバーセキュリティシステムを全世界に輸出しています。イスラエルは、サイバーセキュリティに関して、世界で最も先進的な国の1つです。しかし、皆さんに知っていただきたいのは、私たちが、いま見ている攻撃の洗練度は、ハッカー以上のものを必要としています。それは、どこかの国家が資金を出し、国家の後ろ盾がなければなりません。さて、はっきりさせておきましょう。中には、今から私が言おうとしていることが気に入らない人もいるかも知れませんが、これは事実です。イラン人は後ろで手を縛られていて、今のところ、報復する余裕はありません。その理由を二つ説明させてください。

①攻撃された物に関して、彼らは、その存在を否定して来たので、それに対して、本当に反応する事が出来ません。つまり、彼らが、決して存在しないと行って来たものを我々が破壊したとして、彼らには、我々に、その責任を追求する事は出来ません。それらは、決して存在しなかったと彼らは言うのですから。それが、まず第一です。

②2つ目はこれです。イランは、11月3日を待っています。彼らは舌を噛み、唇を噛みしめ、お利口でいようと頑張っています。彼らは、お行儀よくしようと頑張っています。なぜなら、彼らは確信しているのです。トランプ大統領がホワイトハウスから出て行き、民主党がそこに戻った瞬間、イラン協定は再審議され、数十億ドルが戻って来る。制裁は解除される。そしてイランは、イスラエルへの復讐や何かを実行できる。それまでは、彼らは、本当にお行儀よくしたいのです。

興味深いと思いませんか？イラン、ベネズエラ、ヒズボラ、ハマス、パレスチナ自治政府、ムスリム同胞団…  
こういった悪党たちは、誰に、ホワイトハウスにいてもらいたいですか？民主党ですよ！彼らは、オバマ大統領の時代に人生を謳歌し、そのような、リベラルで進歩主義的な思想を取り戻したいのです。それは非常に、非常に、

非常に明確でなければなりません。私たちは、イランが11月3日にトランプ氏が当選しないようにと祈りと期待を込めて指折り数えて待っているのを見ています。これが、私が最初に言いたかったことです。

繰り返しますが、今日、イランで大きな爆発がありました。彼らの石油化学産業です。そして実際には、彼らはまだこのことをコントロールしようとしています。ちなみに、イランは、国民の間で、何か<sup>ぶつ</sup>沸々としているのを感じています。彼らは、国民が再び何らかの形で路上に出ようとしているのを感じています。人々は、アメリカの体制が、自分たちを支援していることを理解していて、そして彼らはまた、政権が今、超弱体化していることも理解しています。ネット上のアラブのメディアが見せているものを、私は皆さんに見せたくありません。つまり、おかしいのですが、しかし屈辱的でもあり、とにかく、私はそれを避けるようにしています。しかし現在、アラブ世界、イスラム世界全体がイランを見て笑っています。イランは見るからに弱く、毎日のように攻撃されているのですから。という事で、このようなことが、あちらで起こっています。

さて、リビアでの出来事をご紹介します。ここ5日間で1400人以上の傭兵、外国人戦士を、トルコがリビアへ輸送しています。どこから？シリアから。トルコはシリア北部に侵攻して、反乱軍を全員、シリア北部から連れて行き、貨物機に乗せて、リビアまで飛ばして戦わせるのです。私が何を言っているのか分かりますか？トルコに代わって、リビアという異国の地で戦っているのは外国人です。この後、これらの点と点を、すべて結びつけます。なぜなら、古代のオスマン帝国を見て、理解しなければなりません。なぜ、トルコはリビアにいたがるのか？なぜ、トルコはイラク北部にいたがるのか？なぜ、トルコはシリア北部にいたがるのでしょうか？トルコがスーダンにいたがるのは、なぜでしょうか？この後、これについて理解を深めます。



さて皆さん、私たちは、ここで緊張感が高まるのを見ています。トルコが、シルトと呼ばれる沿岸の重要都市に攻撃開始するという、大きな民意の一致がある為です。では、分かりやすいように、リビアの地図をお見せしましょう。これが、現在のリビアの地図です。黄色の部分は、国連が後援する政府ではありません。これは、リビア国家軍の政府です。これはハフタル將軍の政府です。良いですか？彼はロシアに助けられていて、エジプトにも助けられています。エジプトは、リビアの真東に国境があります。エジプトは、ムスリム同胞団、アルカイダ、ISIS間違いなく、トルコがエジプトに侵入することを望みません。ですからエジプトは今、最も洗練された武器で、完全武装しています。彼らは、エジプトの最大の脅威は、西部のリビアから来ていることを理解していますから。皆さん、ご覧ください。国の中に国があるのです。見ていただきたいのは、南部、部族の緑の部分を除いて、基本的に青と黄色があります。青い方は首都トリポリがあるリビアで、これは国連が後援する国家、政府です。黄色く大きいのがベンガジで、そこは、ハフタル將軍が支配しているところです。したがって、2つの政府があり、両方の政府が、異なる国との契約に署名しています。一つ例を挙げましょう。12月、エルドアンは、非常に怒りを燃やしていました。イスラエルが地中海でガスを発見し、キプロスも地中海でガスを発見しましたが、トルコは、地中海でガスを発見できませんでした。そこでエルドアンがしたことは、エルドアンは契約に署名して、…これを取り除きましょう。覚えておいてほしいのは、トリポリは一つの政府で、ベンガジは別の政府です。今、これを外して。エルドアンが、トリポリのリビア政府と調印した協定を、お見せしたいと思います。彼が何をしたのか見てください。彼は、トルコからリビアへの通路を作り、そして、言っています。「これらは、トルコとリビアによってのみ管理されるべき共有水域である」しかし、彼がやったことを見てください。彼は、ベンガジを含め、実際には、トルコと取引していない別の政府

の下にある、すべての部分を含めました。これは、自分がほしいものを作って、それを強制しようとしているようなものです。しかし、彼はそれを間違った政府にやっしまいました。さて、ギリシャとイタリアがこれを見て、彼らは、すぐに駆けつけ、イタリアとギリシャの間で、独自の水域の契約をしました。これをご覧ください。そして、彼らは言いました。「これは、明確に我々が制御できるものである。これは我々のものであって、我々はガスを探し、石油を探す事が出来る。そして、ギリシャとイタリアだけがその国境を支



の下にある、すべての部分を含めました。これは、自分がほしいものを作って、それを強制しようとしているようなものです。しかし、彼はそれを間違った政府にやっしまいました。さて、ギリシャとイタリアがこれを見て、彼らは、すぐに駆けつけ、イタリアとギリシャの間で、独自の水域の契約をしました。これをご覧ください。そして、彼らは言いました。「これは、明確に我々が制御できるものである。これは我々のものであって、我々はガスを探し、石油を探す事が出来る。そして、ギリシャとイタリアだけがその国境を支





配しているのだ。」よろしいですか？さて、それは、ギリシャとイタリアです。エルドアンは、なぜ怒るのか？エルドアンが怒っている理由は、ギリシャがやったことはこれだけだと思っているのなら？そうではありません。ギリシャはまた、ハフタル将軍との協定にも署名しています。彼らがしたことを見てください。ギリシャとベンガジ、それから、ハフタルの領土との間の水域は、ギリシャと、あのハフタル将軍のリビア政府との間で分割しなければならないですから、リビアには2つの政府があることがわかります。それぞれの政府が、彼らの水域に関して異なる国と取引に署名していて、トルコが激怒し

ています。さらに皆さんに知ってほしいのは、トルコは、その結果、彼らの船、海軍を送り始めました。皆さん、ご覧ください。今、トルコ艦隊の全艦隊が海軍演習のような事を行なっているのです。はるばる、トルコからリビアに向けて。それを見てください。そして、トルコの民間船がリビアに武器を持ち込むのを止めようとしたフランスに何が起こったかという、トルコは、すぐにフランスを脅し、フランスは引き返しました。その後、イタリアがやって来て、イタリア人も引き返しました。皆さん、なぜ、私がこれらを言っているかという、エルドアンには夢があるのです。エルドアンはまた、イタリア



を非常に絶妙なところで押さえています。エルドアンは今、トリポリからチュニジアの海岸まで、すべてを支配しています。実際、アフリカの不法移民の多くがイタリアに向かって、出発している地域です。そしてエルドアンは、基本的に言っています。「もし私に逆らうなら、私はアフリカからイタリアに向かって大量の不法入国者を解放し、氾濫させる。」その季節は、すでに始まっています。そして、なぜ、この全てを言っているかという、これが理由です。歴史を遡れば、トルコは部族が全てであり、ある意味では、オスマン大王の小さな部族、もしくは領土だけが、最終的に主要な勢力を生み出すことができる。つまり、歴史の過程で、コンスタンチノーブルを乗っ取り、現在のイスタンブールの街を、キリスト教ビザンティン帝国の手からイスラム教の街に変えたメフメト2世の勢力です。これは1500年代の話です。皆さん、4世紀のコンスタンチノーブルは、実はビザンチウムと呼ばれる都市です。そこをクリスチャンが乗っ取り、そして、皇帝コンスタンティヌスが、彼自身にちなんで「コンスタンチノーブル」と名付けました。6世紀には、アヤソフィアと呼ばれる最大のドームと最大の空間を持つ、大きな教会が建っていました。当時の世界最大級の教会です。こちらはアヤソフィアです。周りのモスクは無視してください。教会自体を見てくださ



い。それは驚異的です。それは1000年間、教会としてそこに立っていました。その後、オスマン帝国が成立し、最終的にコンスタンチノーブルの街を乗っ取ると、それがイスタンブールとなり、基本的にはモスクに改造されてしまいました。そして500年近くの間、教会がモスクになりました。さて、これが初めではありません。勘違いしないでください。これは、イスラム教徒の聖地とは何の関係もありません。これは政治的な立場です。それは政治的

です。「今、お前たちの宗教があるところに、我々の宗教を置く。」そして、間違っ

間違ってはいけません。皆さん、それは1930年代まで続きました。より正確に言うと、1934年。オスマン帝国が1700年代に沈み始めたとき、完全に滅ぶまでには約200年かかりました。それが刻まれたのは、その時です。第二次世界大戦の後。そこから欠片が取り出され、トルコの父アタチュルクが率いた国民運動が起こりました。ちなみに、トルコの語源は、古代トルコ語で「力、強さ」という言葉から来ています。トルコの父アタチュルクはトルコで世俗革命を起こした人で、彼は3つのことをしました。

- A. 彼はカリフ制を廃止しました。トルコは、もはや、カリフ制ではありません。
- B. 彼は、文字をアラビア語からラテン文字に変更しました。こんにちまで、トルコ人はラテン文字を使用しています。
- C. 皆さん、彼は、スルタンがいたイスタンブールからアンカラに首都を移しました。そして、その最中に、ハギア・ソフィア（大聖堂）アヤソフィアを宣言したのです。

彼は、後にモスクとなったその教会を、キリスト教とイスラム教の博物館にして宣言しました。そこは、トルコで最も見光客が訪れる場所の一つとなりました。それが数日前に何があったかという、エルドアンは、1934年からの

トルコ政府の決定を基本的に無効にし、ほぼ100年後、基本的には90年後にアヤソフィアを、現役のモスクに戻したのです。彼は、基本的に、何を言おうとしているのでしょうか？彼が言おうとしているのは、「アタチュルクが廃止したもの、かつてはトルコの誇りとして立っていたものを、スンニ派イスラム世界の指導者として、私が復活させる。」



アヤソフィアを見た後、次は、この地図を見てほしいと思います。多分、今晚の地図の中で、最も重要なものです。なぜなら、こんにちのトルコを見て、グレーの部分を見て、そして、黒い部分を見てください。これは、1700年代に沈み始めるまでのかつてのオスマン帝国です。そこにはリビアが含まれています。スーダンも含まれています。エジプトの一部が含まれていました。それは、イスラエルを含みました。イラクも含まれていました。シリアが含まれていました。エルドアンが、今、侵入している場所は全て、他でも無く、オスマン帝国を、元の大きさ、形に復活させるための、彼の働きです。非常に明確

にしておきましょう。こんにち、私たちが目撃しているのは、シーア派対シーア派の対決です。イランにはペルシャ人のシーア派、イラクにはアラブ人のシーア派がいます。彼らは戦い、お互い殺し合います。スンニ派対スンニ派の戦いがあります。イスラム世界、スンニ派世界をリードしたいトルコ、そして、サウジアラビアがあります。ちなみにトルコは、そのすべてに資金を提供しているカタールと仲良くなりました。サウジアラビア、アラブ首長国連邦、ヨルダン、エジプトは対局にあります。彼らは、常に争っています。それからもちろん、スンニ派対シーア派の昔からの戦争があります。彼らは、紀元7世紀から、ずっと戦ってきました。皆さん、アラブ世界が、こんにちほど分裂したことはありません。その理由は、A.イスラエルは、イスラエルが望むものは何でも併合できる。そして、私を信じてください。彼らの互いへの憎しみのために、私たちは、問題なくそれを通過させる事が出来るでしょう。しかし、もう一つ知っておいて欲しいのは、トルコの侵攻が起こると、サウジアラビアはそれに加担するのではなく、それを批判します。これはまさに、預言者エゼキエルがエゼキエル書38章で言っている事です。「シェバとデダンが批判する。」彼らは、実際に何と言っていますか？

#### 「おまえは分捕るために…かすめ奪うために…略奪しようとするつもりか？」（13節参照）

皆さん、それは非常に明確でなければなりません。イスラム教徒によるイスラエルへの侵攻は、宗教的な理由によるものではありません。皆さんを引き戻したいのですが…、それすらも知らない人も多いですが、そろそろ知っておいた方が良いでしょう。エルサレムは、ムハンマドにとってもイスラム世界にとっても、何の意味もありません。彼が歩き、運営し、サウジアラビアで事を行っていた時、彼がメッカからメディナに移動したとき、彼は、実際、エルサレムに向かって祈りを捧げ始めたのは事実です。その理由は、ご存知ですか？メディナの人口の半分がユダヤ人でしたから、ユダヤ人を仲間にしたかったのです。しかし、ユダヤ人が、実際に拒絶したのです。彼らには新しい宗教は必要ありませんから。彼らには聖書の物語が全て揃っていて、彼らが元です。彼は、ユダヤ人を虐殺し、振り向いて言いました。「よし。我々はエルサレムに向かって祈らない。我々はメッカに向かって祈る。」非常に興味深いです。当時のメッカでは、皆、異教崇拝者でした。彼らは石や木を崇拝していて、彼らがそこで崇拝していた大きな石の一つがカアバ、大きな黒い石で、今、それらがメッカで崇拝されています。それは元々、妊婦のお腹や卵の形をした巨大な石でした。古くは豊穡の女神の祠（ほこら）だったのです。そして、一つ確かなのは、子孫繁栄は大事にしたい。子どもが必要で、人生が必要、それが継続する必要があります。そしてムハンマドは知っていました。もし戦えないのなら、仲間に入れば良い。そこで彼がしたことは、メッカでの異教崇拝を廃止する代わりに、実際、彼は言ったのです。「この石は、アッラーからのもので、アブラハムが、イシュマエルを生け贄に捧げようとしたことに対する、アッラーからアブラハムへの贈り物だ。」それでムハンマドは、エルサレムに「否」と言って向きを変えて、メッカに祈るように言いました。「私がエルサレムを求めたのは、ただユダヤ人に加わって欲しかったからだ。しかし、彼らは参加しない。だから、エルサレムはいらない！」それを非常に明確にしましょう。それは、8世紀までは違いました。もう少し具体的に言ってみましょう。そうですね、それは7世紀の終わり、西暦682年頃でした。当時、世界を支配していたのはイスラム教徒の二つの家族でした。もちろん、メッカとメディナのイスラム教徒もいました。そして、ダマスカスから支配していたウマイヤ家の一族がいました。はっきりさせておきます。メッカの人々の反乱があり、結果、ダマスカスからメッカへの道路が閉鎖されて、ダマスカスのウマイヤ家の人々は、メッカへの巡礼である「ハッジ」を行うことができなかつた。それで彼らは、その代用を見つけようとしていました。ダマスカスが

ら、イスラム教徒をどこに送れば良いだろう？その時、そこからエルサレムが重要な場所となり、そのため彼らは、直ちに西暦685年～西暦691年まで、岩のドームの建設を始めたのです。岩のドームは、ムハンマドのずっと後になって代替の崇拜場所として建てられたのです。ダマスカスの一族がメッカに近づけなかったときに、メッカに匹敵するものとして。メッカの人々の反乱が鎮圧された途端、彼らは向きを変えてメッカに戻り、メッカで礼拝するようになりました。しかし今、エルサレムにはすでに何かが立っています。はっきりさせておきましょう。コーランには、エルサレムが記載されていないだけでなく、後に書かれた、口伝であるハディースはすべて、エルサレムを重要視しているのは、唯一、メッカに近づくことができなかつたためにエルサレムが必要だった時だけです。ムハンマドがコーランに書いたものには、イスラム教徒の聖地に、エルサレムは一切含まれていません。ちなみに、それはスンニ派です。シーア派にとって、エルサレムが聖地ではあった事は一度もありません。シーア派にとって、世界で3番目に神聖な場所は、イラクのナジャフで、第4代イマームアリーが、そこで殺されました。彼はまた、ムハンマドの甥であり、婿でもあって、彼は、そこに埋葬されています。では、なぜイランはエルサレムに興味を持っているのか？繰り返しますが、それは政治的なものです。1979年、イランがアッヤトラーのものになるまで、シーア派は、エルサレムに全く興味がありませんでした。そういう事です！皆さん、理解しなければなりません。すべて、政治的なものです。宗教とは何の関係もありません。したがって、ここでもエルドアンは、いずれ侵略してきます。どうして？それは宗教とは関係なく、全ては、オスマン帝国の名誉と偉大さ、1600年代の帝国の大きさと偉大さを取り戻すためです。それが全てです！イランもトルコも両方、ゴグの動きを待っています。皆さん、私たちが目撃しているのは、リビアやスーダンが、再び、復活したオスマン帝国になるための、トルコの動きの一部になっている様子です。もし、あなたが思っているなら、「ちょっと待ってください。なんで、そんな話をするんだ？」皆さん、言っておきますが、皆さんが思っている以上に、11月3日の選挙は中東の情勢に影響を与えるでしょう。イランが待っています。トルコが待っています。ロシアが待っています。彼らは理解しています。もしトランプ大統領が勝てば、イランが、核戦争や核攻撃という本来の計画に戻るチャンスは、もはやない。彼らは理解しているのです。ワシントンで起こることが、実際にワシントンで起こることは全体に影響します。とにかく、皆さんに理解してもらいたかったので。起こっていることの多くは、アメリカの選挙次第です。という事で、エルサレムについて話しました。もちろん、現在起こっている事についても話しました。

ところで、もう2～3のことをお話ししましょう。ポーランドの選挙では、超保守派のポーランド大統領が再び勝利し、リベラル派のワルシャワ市長が対抗馬でした。ポーランドで見ていることは、実際には多くの保守派や、多くの人々が今感じていることの傾向を決める道です。彼らは、アメリカを脅かすカオスと無政府状態を見て、保守を選ぶのです。ポーランドは共産主義とは何かを知っています。分かりますか？アメリカでも、ヒスパニック系の民主党から共和党への大きな動きが見られます。彼らは、よく知っているのです。彼らの多くはキューバやベネズエラ、あるいは、他の南アメリカや中米のひどい全体主義政権から逃げてきました。彼らは、はっきりと知っています。彼らがアメリカに逃げてきたのは、より良い生活をするため、繁栄を見出すためです。子どもたちのため、そして自分自身のために、より大きな未来を見つける為です。彼らは共産主義に戻るつもりはありません。哀れな、脳なしで、洗脳され、完全に教化された若者たちのほとんどは、今やアンティファやブラック・ライブズ・マターの一部になりつつあり、彼らは全員、誰一人として共産主義の国に住んだことがありません。彼らの誰もが、全体主義の意味を理解していません。私は、Facebookに投稿しましたが、数日前にトランプ大統領が、ホワイトハウスでヒスパニック系を接待しました。つい先日、彼がヒスパニック系社会の繁栄法に署名したからです。そこに招待されていた人で、キューバから移民して来ていた人がいて、彼が言いました。カストロが始まった時、彼はカトリック教会を受け入れていたのに、カストロが勝った途端、彼は彼らを最初に排除したのです。

私が言いたいのは、最初のうちは何もかもが素晴らしく聞こえますが、いったん権力を握ると、こういった政権は、基本的に、誰にも変えさせません。民主主義は、窓から放り出されるでしょう。人種差別との戦いの名の下に私たちが見ているのは、人種差別の急増です。自由のための戦いの名の下に私たちが見ているのは、実際には、自由を奪われる事に国民が投票しているのです。皆さん、先週末のシカゴでは、60件の銃撃戦があり、そのうち10件で死者が出ているのをご存知ですか？それが、毎週末です。ほとんど毎日のことです。法律も秩序もなく、混沌とした無政府状態、それが彼らの目標です。このタイミングで、トランプ大統領を倒すため、無政府状態を作り出す。皆さんに言っておきますが、ほとんどのアメリカ人はそれに同意しておらず、それに賛成していません。これは非常に重要です。ポーランドで起きたことは、私にとっては、11月3日にアメリカで起きうることの、その方向性を示しています。



最後に、これで締めくりたいと思います。とても、とても慎重に言いますが、ここ数週間の中に、私のもとには非常に多くの情報や報告が、南アフリカから入ってきました。さて、私は人種差別主義者ではなく、私はアフリカ人を愛しています。実際、私の次のズームミーティング、今週の土曜日は、西アフリカの全16カ国です。ナイジェリアとトーゴ、ニジェールからのすべての質問に答えます。私たちは質問を受けつけ、彼らの質問に答えます。私たちは、彼らを愛しています。私たちは、彼らがキリストのみもとに来るのを見たいのです。私たちは、彼らが栄える姿を見たいのです。私は、人を愛し、人を尊敬し、人を殺さない人には何の恨みもありません。ここ数年、私たちが見ているもの、今は特にブラック・ライブズ・マターを装って、そして黒人に対して行われたとされる残虐行為に関しては、誰もが今、超、超正義です。その名のもとに、私たちが南アフリカで見ているのは、南アフリカの農民の大虐殺です。私は、驚くべき話をたくさんいただきました。それは、南アフリカ政府の最高幹部から始まって、実際に人々が土地を取り戻す事を許可しているのです。勘違いしてはいけません。彼らは、これらの農民を殺すだけでなく、拷問しているのです。そして彼らは、子ども、女性、男性を殺し、拷問します。何が起きているのか南アフリカの農民は、何も言えません。今、この世の精神は「ブラック・ライブズ・マター」ですから。従って、南アフリカ人は、一言も言えないのです。そうでなければ、自動的に人種差別者のレッテルを貼られます。

皆さん、お伝えします。ミネアポリスで犯罪者が殺されると、世界はひっくり返り、しかし、無実の農民が、毎日虐殺されて、彼らの妻と子どもたちが拷問され、虐殺されているのに、世界は何も言いません。トランプ大統領が、先日ツイートしていました。「現地で起こっている事について、多くの報告を受けており、ポンペオ長官に調査を指示している。」なぜなら、南アフリカ政府がそのすべてを隠そうとしているからです。皆さんに言いたいのですが、ええ、黒人の命は重要です。しかし、白人の生命も同様に重要であり、すべての生命が重要です。しかし、永遠のいのちは何よりも重要です。私たちは理解しなければなりません。1つの残虐行為と闘うという名目で、別の10件の残虐行為を行うことはできません。一つだけ言えることがあります。世界は間違いなく、間違った方向に向かっていきます。しかし、「善を悪、悪を善と言う者たち。闇を光、光を闇とする」人々に属してはいけません。(イザヤ書5:20参照) アメリカには、黒人の大量虐殺はありません。それは真実ではありません。しかし、南アフリカで起こっていることはそれに他なりません。だから私たちは立ち上がり、真実を、そのまま伝えなければなりません。ですから、皆さんに呼びかけたいと思います。彼らのために祈りましょう。皆のために祈りましょう。誰も拷問されて殺されるに値する人はいません。肌の色は関係ありません。だから、皆さんに、このすべてを伝えることが重要でした。なぜなら、人種差別的だと非難されることを恐れて、皆、この話をしませんから。私は人種差別主義者ではありません。私は黒人が大好きです。私は白人が大好きです。私はアジア人が大好きです。私はヒスパニック系の人が一番大好きです。みんな大好きです。どちらかと言えば、このミニストリーは超国際的であると言えます。私たちは150か国以上からフォローされ、視聴されています。Facebookでは、100万人以上がフォローしています。その多くは、アラブ人やイスラム教徒、アフリカの人やアジアの人たちです。そんな場所から私たちを見る人がいるなんて、考えた事もないような所の人たちです。中には、攻撃するために私たちを見ている人もいますが、ほとんどの人は知りたいのです。

皆さんに知っておいて欲しいのは、イエスが答えです。別の問題を作る事で1つの問題を解決する事は出来ません。白人が狙われるケースがますます増えています。ちなみに、現在、ユダヤ人は米国で標的にされています。ご覧ください。今見ているイスラム共産主義者の同盟は…人々が逆戻りして、ルイス・ファラカン(Nation of Islamの指導者)をお手本とするのを見えています。フィラデルフィア出身のNFL選手だと思いましたが…ディション(ジャクソン)だったと思います。忘れましたが。彼は、自身のツイートや投稿の中でアドルフ・ヒトラーを引用しています。言っておきますが、皆さん、ルイス・ファラカンが、お手本でアドルフ・ヒトラーを引用しているのなら、あなたの問題は、周りの人種差別主義者ではありません。あなたの問題は、あなたの中の人種差別主義です。醜い事を、きれいごとにするのは止めましょう。人種差別との戦いの名の下に、私たちは至る所で10倍以上の人種差別を見えています。これらすべてに対する答えは1つしかなく、それは救い主です。それはイエスを選ぶことです。天の下で、人が癒されたり救われたりするのには、主の御名のほかにないのです。(使徒の働き4:12参照) 失敗するだけの、古いタイプの政府の、偽の、嘆かわしい、完全な愚かな解決策のいずれにも、希望はありません。うまくいきません。ルイス・ファラカンは最大の反ユダヤ主義者です。その名の下に、現在、ユダヤ人がニューヨークの地下鉄や街中で攻撃されています。ニューヨークからイスラエルに向かう飛行機は、今、アメリカから逃げるユダヤ人で満員です。年末までに、25万人の新規移民が見込まれています。全ては、現在、あちらで起きている事が原因です。

私は、皆さんを励ましたいと思います。世界は狂っています。しかし主は完全に支配しておられます。すべてにおいて。ほら、今日はトルコの話をしましたね。エルドアンは、いろいろやっていて、自分が聖書の預言を成し遂げているとは全く知りません。彼は何も知りません。…見てください、トルコは1980年代のイスラエルの最大の友人でした。80年代半ばから90年代初頭にかけて、両国間には、軍事的だけでなく政治的な関係もありました。それは、1950年にイスラエルを認めた最初のイスラム教国家でした。それが、その変貌<sup>へんぼう</sup>を見てください。それは、エゼキエル書38章に変わります。それは、すでに見えています。イランは1979年に国王が倒れるまで、イスラエルの親友でした。それが、その変貌を見てください。それは正確にエゼキエルが38章で見えていたものになりました。リビアとスーダンには独自の政府がありました。すべてがうまくいってました。それが、彼らの変貌を見てください。エゼキエル38章が予測したとおり、トルコ、ロシア、イランの遊び場です。ロシアは、もはやロシアだけにはいません。それは現在、エゼキエルが予測したとおり、イスラエルとの国境にいます。私の言いたいことは、非常に明確です。「天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。」(マタイ24:35で) イエスがおっしゃいました。)

**「いちじくの木から教訓を学びなさい。枝が柔らかかになって葉が出て来ると、夏が近いことが分かります。」  
(マタイ24:32)**

イスラエルは、彼らの地に戻っています。イスラエルは全盛期で、繁栄しており、強いのです。エルサレムが私たちの手に戻ってきました。皆さん、私たちはイエス・キリストの時代以来最も祝福された世代です。目の前で、すべての事が起こるのを見ています。だから私たちは落ち込んだり、心配したり、怒ったりする必要が、最も少ないのです。今は、確かに、こういうものを見ると、私たちは嬉しくはありません。しかし、私たちはそれを知りませんでしたか？ 読んだことがありませんでしたか？ 驚くようなことは、何もありません。私は、皆さんを励ましたいと思いません。

**「これらのことが、起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが(確かに)近づいているからです。」 (ルカ21:28)**

エルサレムに関しては、イスラム教徒にとってもアラブ人にとっても、聖地であった事は一度もありません。事実、(アルタクセルクセス)王がエルサレムの再建を許可したときに、ネヘミヤが何を経験しなければならなかったかを思い出してください。途中、彼はアラブ人のゲシム、トビヤ、そしてサンバラテに会いました。ネヘミヤ記2章、19節から読んでいます。

**「ところが、ホロン人サヌバラテと、アモン人で役人のトビヤ、および、アラブ人ゲシムは、これを(エルサレムを再建しに行く事を)聞いて私たちをあざけり、私たちをさげすんで言った。『おまえたちのしているこのことは何だ。おまえたちは王に反逆しようとしているのか。』そこで、私は彼らにことばを返して言った。『天の神ご自身が、私たちを成功させてくださる。だから、そのしもべである私たちは、再建に取りかかっているのだ。…』」  
(ネヘミヤ記2:19~20)**

それからネヘミヤが言ったことを見てください。

**「『しかしあなたがた(ホロン人、アモン人、アラブ人)には、エルサレムのうちに何の分け前も、権利も、記念もないのだ。』」 (ネヘミヤ記2:20)**

それが神のみことば、ネヘミヤ2章です。皆さん、神のみことばは永遠に立ちます。それが彼らを狂わせるのです。これは新聞よりもはるかに正確で、これが彼らが近い将来に破綻することを証明しているのです。

お父様、みことばをありがとうございます。この真実に感謝します。お父様、あなたはいつもあなたのみことばで私たちを励ましてくださり、感謝します。天地は消え去りますが、あなたのみことばは決して消え去ることがありませ

ん。私たちが持っている祝福された希望に感謝します。この恐ろしく劣化した世界から私たちを連れ出すために、すぐに来てくださることに感謝しています。これは私たちの場所ではありません。これは、我が家ではありません。ここは、あなたのために準備する場所ではありません。あなたが私たちのために場所を用意してくださり、私たちを連れて行ってくださいます。約束を感謝します。永遠のいのちの贈り物を感謝します。あなたの救いの喜びと祝福された希望が、すぐに私たちを連れて帰ってくださいますように。そして、あなたのことを知らない誰かが今これを見ていて、今夜、彼らがひざまずき、罪人であることを悔い改め、いのちと豊かないのちもたらす方、イエス・イエシュアにいのちをささげることができるように祈ります。主の御名においてお祈りします。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 英語)

シャローム、平和の主である、平和の君から得られる平和。いつでも、どこでも、主の御名によってお祈りします。

アーメン。

今晚は、ご参加いただきありがとうございます。超重要なアップデートでした。できるだけ多くの人にシェアしてください。それから…明日からワクワクすることが始まります。「ヤング・アダルト・ディサイプルス・ズーム・ミーティング」を開始します。これは、YouTubeでもライブ配信します。皆さん、15歳から30歳までの、すべての人の人生に変化をもたらしたいと考えています。彼らは、現在、敵から攻撃されています。私たちは、彼らを弟子訓練して、彼らに神のみことばを与えたいのです。彼らに御言葉から真実を与え、この暗い世界の中で、素晴らしく輝く道しるべとします。だから、皆さんお知り合いの若者が近くにおられたら、明日オンラインで参加するようにお伝えください。そして、もちろん水曜日にはオンラインで祈祷会があります。そしてもちろん、土曜日の正午には西アフリカのQ&A、土曜日の夜には、新しいことを行います。皆さん、預言円卓会議です。ジャン・マーケルとバリー・スタグナー牧師と一緒に、私たち3人は聖書預言と時事問題について話し合います。

ありがとうございました。

God bless you !!

イスラエル、ガリラヤよりシャローム。

さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.07.24 (Fri)